

媒体資料

2024

月刊「ニューメディア」

NEW MEDIA

<https://www.newww-media.co.jp>

1983～2024

41周年

メディアのビッグバンを伝えて40年
それは新技術・新サービスの軌跡

株式会社 ニューメディア

掲載データは2023年12月末のもです。

NEW MEDIA

月刊ニューメディア編集長 渡辺 元

『月刊ニューメディア』の2024年の目標と方針

『月刊ニューメディア』のパーパス

『月刊ニューメディア』は放送・通信事業者*に「最強のイノベーション」を提案します。

※放送・通信事業者：放送局、ケーブルテレビ事業者、通信事業者、コンテンツ制作会社など。



パーパスの実践 = 3つの読者層に向けた「最強のイノベーション」提案

『月刊ニューメディア』は放送・通信事業者の読者が「最強のイノベーション」提案を、**1** 経営に生かす、**2** システム構築に生かす、**3** 最新技術を知る、という3つに活用していただける特集・記事を掲載します。

- 1** 経営陣向け記事 ⇒ **経営に生かす**
放送・通信事業者の経営陣向け記事では、強力な技術戦略を提案します。
- 2** 技術担当者向け記事 ⇒ **システム構築に生かす**
技術部門担当者向け記事では、最新の技術、システム、ソリューションを提案します。
- 3** 技術担当者以外に向けた記事 ⇒ **最新技術を知る**
営業・制作・編成など技術部門以外の担当者向け記事では、最新技術を分かりやすく解説します。



『月刊ニューメディア』の強みが「最強のイノベーション」提案を可能にする

『月刊ニューメディア』の「最強のイノベーション」提案は、弊誌の**“3つの強み”**によって作り上げたもので、他の媒体やWeb上にはない、『月刊ニューメディア』ならではの情報です。

- 1** 「最強のイノベーション」提案は、弊誌が業界・メーカー・行政などの関係者との議論を通して共に作り上げた、放送・通信事業者にとって最適なシステム、ソリューションの提案です。
- 2** 「最強のイノベーション」提案は、放送・通信事業者のニーズ、最新技術のシーズ、今後の技術・市場・社会の動向に対応させています。
- 3** 「最強のイノベーション」提案の策定においては、弊誌が創刊41年間に築いた放送・通信業界やメーカー・行政などの関係者との信頼関係が生かされています。

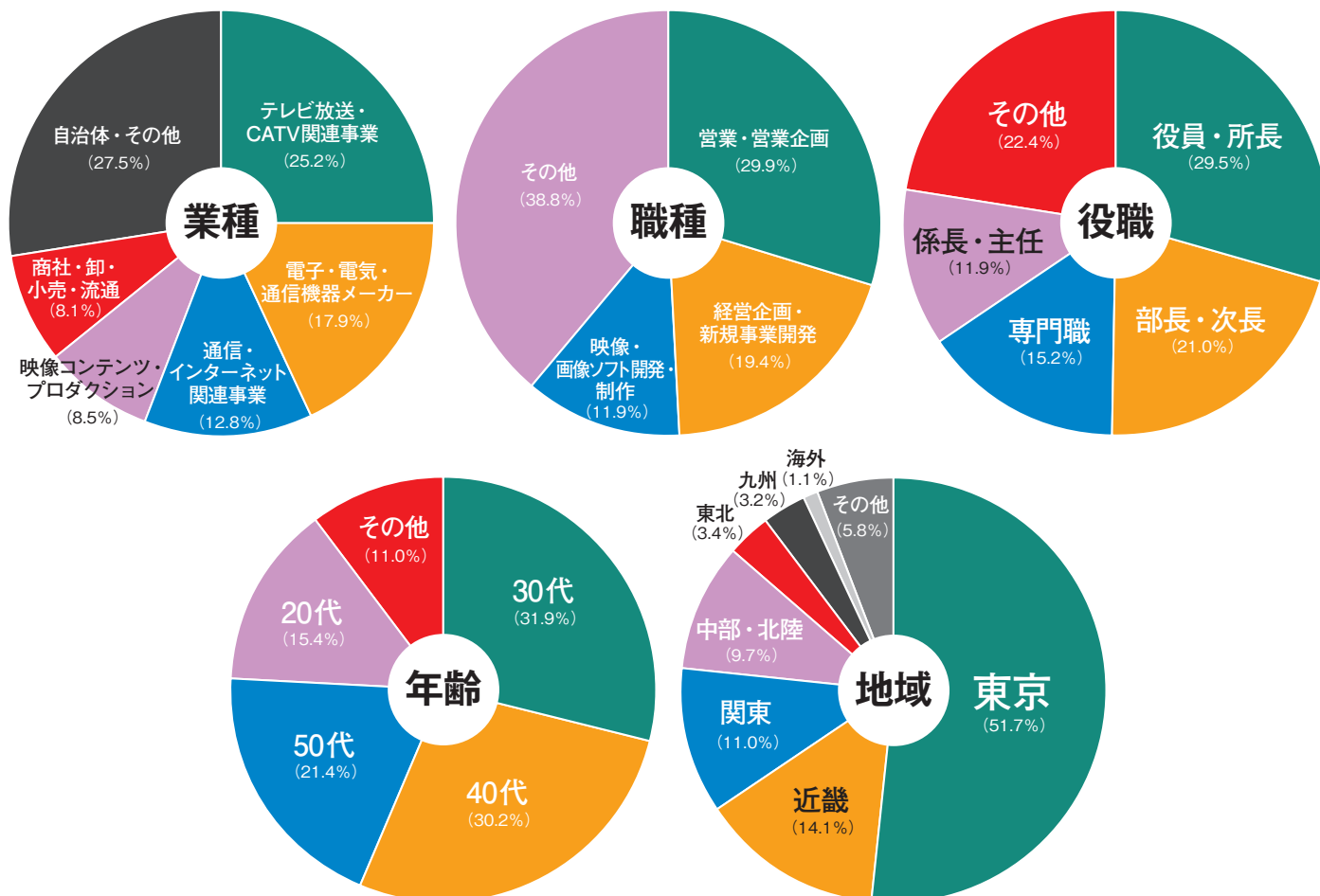
NEW MEDIA

■ 月刊「ニューメディア」発行概要

| | |
|-------|--|
| 発行日 | 月刊発行（毎月1日発売） |
| 創刊 | 1983年 |
| 発行部数 | 55,000部（定期購読者を中心に大手主要書店、Amazon、富士山マガジンサービスなどネット書店にて販売） |
| 体裁 | A4判 正寸 |
| 価格 | 1,150円（税込） 年間12冊定期購読料：13,800円（税込、送料弊社負担） |
| 編集長 | 渡辺 元 |
| 取次 | トーハン、日本出版販売、楽天ブックネットワーク |
| 都内取扱店 | 紀伊國屋書店 新宿本店、三省堂書店 神保町本店、丸善 丸の内本店、丸善 日本橋店、三省堂書店 池袋本店、ジュンク堂書店 池袋本店、書泉ブックタワー（秋葉原） |

■ 読者基礎データ

情報感度の鋭い読者の多くは攻めの部署に在籍しています。
つまり、弊誌は時代を牽引するキーパーソンのアイデア・ソースになっているのです。



NEW MEDIA

■ 会社案内

会社名 株式会社ニューメディア
所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座1-16-7 銀座大栄ビル6F TEL:03-4360-8644 (代)
創立 1985年7月
資本金 2,000万円
代表発行人 天野 昭

- 事業内容**
- 1 新技術、新事業の専門ビジネス誌として、他メディアと一線を画す徹底した調査、取材を行い、オピニオン形成と市場の発掘・発展促進を目指すメディア情報誌の発行
 - 2 専門書含む単行本の発行
 - 3 メディア業界の最先端テーマによる企画セミナーの開催および視察ツアーの実施

Webサイト <https://www.newwww-media.co.jp>

- 主要刊行物**
- 月刊「ニューメディア」^①
 - NM新書 創業記シリーズ^②
 - NM BOOKS^③
 - 『The FileBase Book』『The FileBase Book2』^④
 - 『われら知財派』^⑤
 - 『NHK会長 海老沢勝二が語る デジタル公共放送論』^⑥ほか

取次 トーハン、日本出版販売、楽天ブックネットワーク



■ 主な広告クライアント (順不同)

パナソニック／華為技術日本／日本電気／イスラエル大使館／花王／日清製粉／西華産業／ミハル通信／ビデオ・テック／
 グラスバレー／NECビューテクノロジー／NECソフトウェア／NECインターチャネル／日本マクドナルド／IMAGICA／
 キヤノン／アスク／メディアグローバルリンクス／ヤマトシステム開発／さくら映機／ジャパン ケーブルキャスト／シンクレイヤ／
 ディズニー・チャンネル／ジェイスポーツ／アストロデザイン／松浦機械製作所／日本ヒューレット・パカード／アサカ／
 中日電子／アニマックスブロードキャスト・ジャパン／日本通信機／ヒロテック／ヨーズマー／NHKアイテック／マスプロ電工／
 スター・チャンネル／FOXインターナショナル・チャンネルズ／日本BS放送／ワールド・ハイビジョン・チャンネル／DXアンテナ／
 ケーブル・ジョイ／伊藤忠ケーブルシステム／朋栄／サーティファイ／キッズステーション／釣りビジョン／メディアキャスト／
 エル・エス・アイ ジャパン／日本CATV技術協会／ジャパン・エンターテイメント・ネットワーク／イトーキ／報映産業／
 アビッド テクノロジー／アリス・グループ・ジャパン／デジタルプラネット衛星放送／日本ケーブルテレビジョン／マイクロソフト／
 電子情報技術産業協会／スカイビジョン／囲碁将棋チャンネル／日本ケーブルテレビ連盟／関電工／ブロードネットマックス／
 古河電気工業／富士通ネットワークソリューションズ／放送大学学園／メディアネットワークソリューションズ／ファミリー劇場／
 ジャパンイメージコミュニケーションズ／富士通／日活／NTT／NTTコムウェア／NTTソフトウェア／NTTドコモ／電通／
 NTT-ME／NTTファシリティーズ／東芝／ソニー／日立製作所／日立エンジニアリング／日立国際電気／三菱電機／
 クアルコム／フジクラ／日本アイ・ビー・エム／NHKテクノロジーズ／日本アルカテル・ルーセント／インターテック／
 データブロード／ナノオプト・メディア／KDDI／アルフレッドコア／加賀電子／ARA Networks／ラムダシステムズ 他

Xデー勉強会の開催

*コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため、一部オンライン開催

- 専門誌編集部らしい厳選テーマで“勉強”
編集部が取材した「勉強したい」テーマで独自企画
- 新技術、新製品、新動向などを共同で企画する“勉強”
企業各社と連携した企画セミナーも立案。もちろん本誌編集部らしい「参加者募集」をサポート
- ツアー企画と連動した事前・事後の勉強会を開催



本誌企画による海外ツアー

主な海外メディアビジネスツアー

- 1月：CES 全米放送業大会 (アメリカ/ラスベガス)
- 2月：MWC (スペイン/バルセロナ、マドリード)
- 3月：SXSW (アメリカ/テキサス)
- 4月：NAB 全米放送業大会 (アメリカ/ラスベガス)
- 6月：ブロードキャスト・アジア (シンガポール)
- 9月：IFA 国際コンシューマ・エレクトロニクス展 (ドイツ/ベルリン)
IBC 国際放送機器展 (オランダ/アムステルダム)
- 不定期：韓国の地上波・ケーブルテレビ・IPTVの今を知る

Dolby Laboratories 本社で
研究開発用のドルビーシアターを見学 (2018年1月)



NEXT30

今後の日本社会を展望する 月刊「ニューメディア」独自の研究活動

日本社会が抱える課題をメディア産業からフォーカス。テーマに即した外部のオピニオンリーダーを講師に、オープンな場として研究セミナーを開催。NEXT30はアドバイザー、スポンサーメンバーの参画によって活動しています。

※活動は2016年で終了しました。

NEXT30アドバイザー



増田寛也氏 野村総合研究所顧問
廣瀬通孝氏 東京大学大学院教授
杉本誠司氏 ニワゴ代表取締役社長
日本創成会議座長

「これまでの研究セミナー」

*役職等は講演当時のものです。

- 第1回 「TPPにおける知財戦略と日本のメディア産業力強化」
- 第2回 「次世代携帯電話の情報革命技術とサービス」
- 第3回 「人口減少・極点社会が激変させるメディア市場と対応戦略を考える」
- 第4回 「福島第一原発の廃炉への道程とロボット技術について」
- 第5回 「ネットワーク空間の社会と今後の展望」
- 第6回 「消費税軽減税率の適用範囲」
- 第7回 「条件不利地域への放送・通信インフラ整備」
- 第8回 「QVCスクエア視察と佐々木迅QVCジャパン社長のプレゼン」
- 第9回 「仕事がない過疎地だから、仕事を持つ人を呼ぼう」
- 第10回 「確固たる『ジャパン・ブランド』を打ち立てる国際戦略づくり」
- 第11回 「災害大国日本における国土経営の再考」
- 第12回 「成熟社会の『少子高齢』の宿命に立ち向かう」
- 第13回 「広告表現の未来 ～メディア急進化時代の広告表現～」
- 第14回 「世界最大の気象情報会社ウェザーニューズの心臓部を見学する」
- 第15回 「日本発『8K医療応用』をリードする技術開発の課題」

スポンサーメンバーには、(株)NHKエンタープライズ、(株)NHKメディアテクノロジー、NTTぶらら、(株)アイセック・ジャパン、ジャパンケーブルキャスト(株)、(株)電通 電通総研、(株)ビデオ・テック、(株)丸ハホールディングス、(株)オクトシステムサービスらが参画 (2015年4月現在)。

NEW MEDIA

■ 広告料金

* 広告会社様へ ネット料金です。

| 掲載面 | 色 | スペース | 広告料* (税別) | 雑誌掲載サイズ (天地×左右) |
|-------|----|-------|-----------|-----------------|
| 表4 | 4C | 1P | ¥700,000 | 274 × 196 mm |
| 表2 | 4C | 1P | ¥600,000 | 297 × 210 mm |
| 表3 | 4C | 1P | ¥500,000 | 297 × 210 mm |
| 記事中 | 4C | 1P | ¥500,000 | 297 × 210 mm |
| 記事中 | 4C | 横1/2P | ¥160,000 | 149 × 210 mm |
| 記事中 | 4C | 横1/3P | ¥80,000 | 99 × 210 mm |
| 記事中 | 4C | 横1/4P | ¥60,000 | 75 × 210 mm |
| 目次ページ | 4C | 横1/4P | ¥90,000 | 75 × 210 mm |

※ 記事タイアップの場合：広告料金+制作実費30万円/1頁

■ 塗り足しを含めた広告の「作成 (データ) サイズ」や、伝達要素 (ロゴや文字、QRコードなど) を置く範囲について、別途ご案内いたします。

■ 広告入稿のご案内

「**広告のデータ**」 「**出力見本** (PDF など)」 「**データ入稿表**」 の3点をご送付ください。

「広告のデータ」

- 「Illustrator」 (Adobe Illustrator=Ai) で作成してください。
- CMYKで作成してください。
- 文字はすべてアウトライン化してください。
- 配置した画像もお送りください。「埋め込み」にすることも可能です。
配置した画像もCMYKであること、350dpi以上であることをご確認ください。
- ほかのアプリケーション (OfficeのWordなど) で作成の場合は、PDFファイルにしてご入稿ください。
- データのウイルスチェックをお願いいたします。
- ファイル転送サービス、USBなどでお送りください。

「出力見本 (PDF など)」

「データ入稿表」

- 入稿日、広告名称、データ制作社名・担当者名・連絡先をご記入ください。

* 色校正はPDFによる確認となります。